

奥秩父 金石沢 沢登り 報告

【山城】奥秩父

【ルート】金石沢

【登山方法】沢登り

【日程と天気】2020年6月24日 晴れ時々曇り

【メンバー】CL 上茂、SL 平野、SL 砂田、高山、下築、石橋、岩井、澤田(路)
勝田、前田、清野(記録)

【行程】

金石沢の橋近くの駐車場 8:55→入渓 9:05→15mの滝 9:20→二俣出合い 10:40→
1750m 稜線 12:15→チョキ 12:50→1650m コルから沢下降 13:30→二俣出合い 13:50
→15mの滝 14:45→金石沢の橋近くの駐車場 15:00

【内容】

新型コロナウイルスによる県外移動自粛要請解除後、初めてちば山山行に参加した。
中央高速道を甲府昭和 IC で降り、昇仙峡グリーンライン、クリスタルラインを走り、
甲府市森林浴広場の金石沢橋付近に車を停めた。金石沢は金峰山から南西に伸びる八幡尾根の下を
流れている。今回は金石沢の右俣を詰めて稜線を上がり、この尾根上にあるチョキというピークを
経由し左俣から沢を下降し、同ルートに戻った。

駐車場で装備を着けて、沢沿いの道を堰堤を巻きながら進んで入渓。

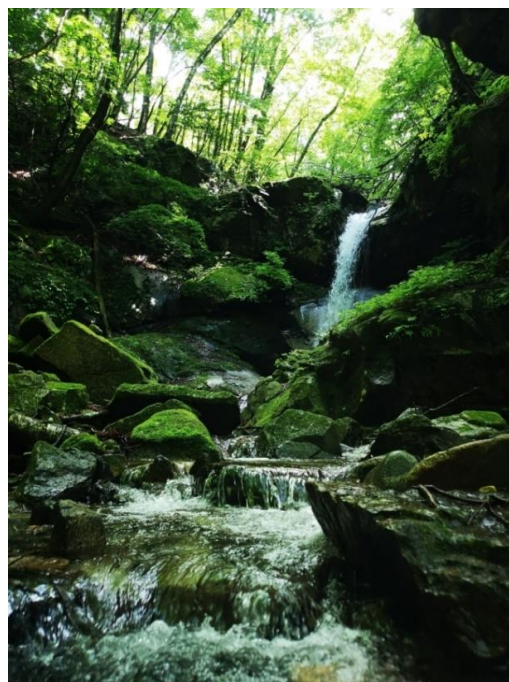


皆久しぶりのちば山山行で自然と顔もほころぶ

クリンソウが1株、エンジがかったピンクの花を咲かせていた。やがて15mの滝があらわれ左側から巻いて登った。



クリンソウ



15mの滝

この先はナメとナメ滝が続き、綺麗だ。なおも進んでいくと、新緑の落葉樹林の合間から青い空が望め、ナメの景色がさらに美しく映えた。



新緑の中のナメと小滝

進んで行きながら、Hさんが、ウスヒラタケとミズを教えてくれた。どちらも食べられるそうだ。

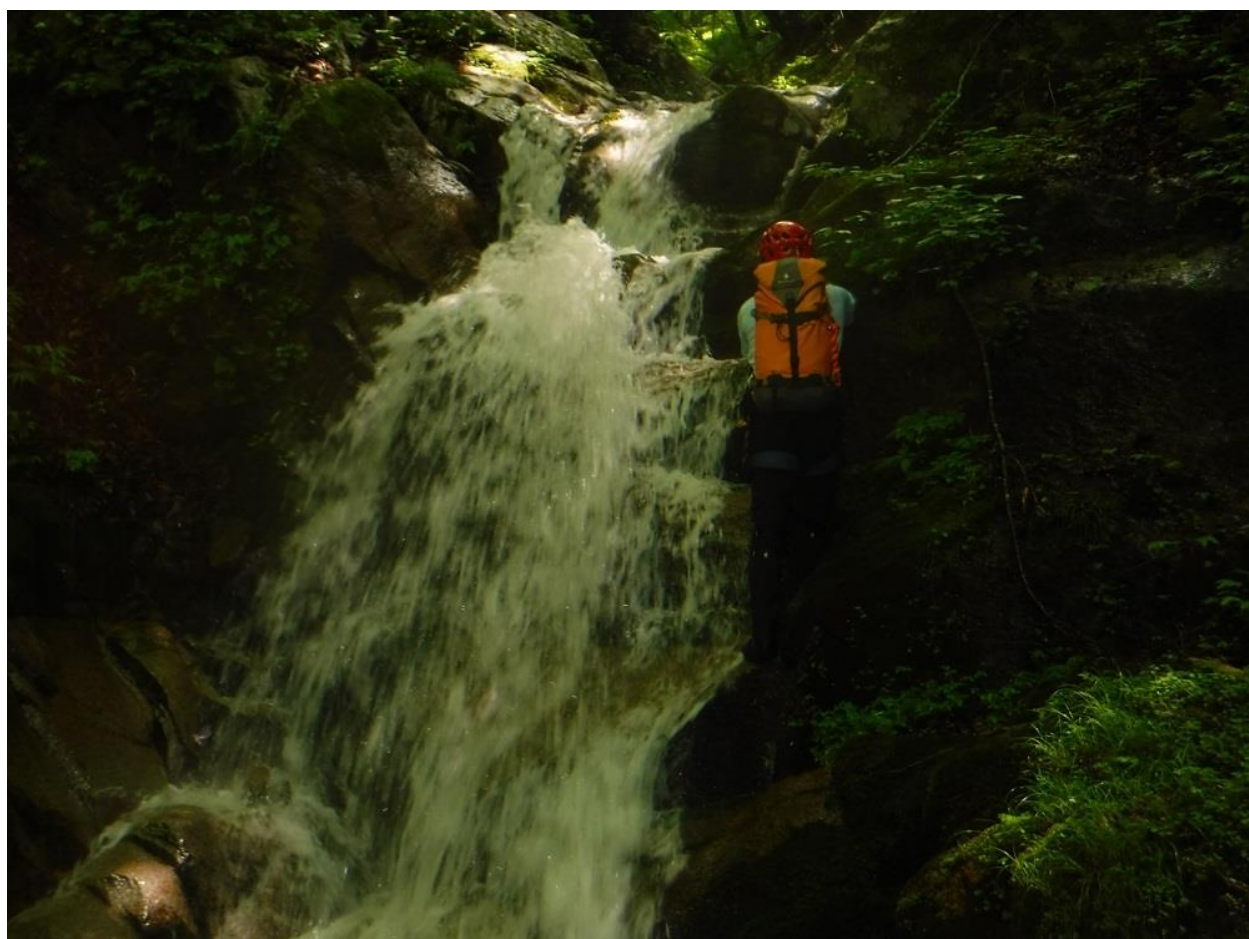


右側に白く見えるのがウスヒラタケ



ミズを収穫！

この先の 5m ほどの滝は、今回一番の難所で緊張したが、全員なんなく登ることができた。



今回 1 番の難所の 5m の滝

下降時との二俣出合いで休憩したが、立っている木の上の方にウスヒラタケが沢山生えているのをみつけた。とても手が届きそうになかったが、Hさんが長い棒の先にナイフをつけて道具を作って使用したら、多くを収穫できた。

二俣出合いから右俣を行くと、ほとんど滝はなく、緩やかな溪流となった。広葉樹林がきれいだ。このあたりで、茶色い、イボイボのあるヤナギタケを収穫。



茶色い、イボイボのあるヤナギタケ

沢を詰めていくとコルまでは急な斜面を登って行った。コルからチョキまでの稜線はカラマツと広葉樹林と草原ですがすがしく、遠くに奥秩父の山々も望めとても気持ち良かった。



コルからチョキまでの広葉樹とカラマツと草原の稜線上で休憩

チョキのピークは広くはなかった。



チョキのピーク

ここから稜線上を下り、コルから痩せた沢を降りて先程の出会いにでた。途中Hさんが大きなヤナギタケを収穫し、Tさんが鹿の頭蓋骨を拾い、見せてくれた。



大きなヤナギタケを収穫



鹿の頭蓋骨を持って

二俣出会いからは登ってきた沢を戻った。5m滝は降りるのは危険なので、巻いた。それからしばらくは沢沿いを進み、本流に戻った。下降時、岩の上は滑りやすかった。沢は登る時よりも降る時のほうが難しいと実感した。

駐車場に戻ってから、本日収穫したものをみんなで分け合った。今回は自然の美しさ、山菜の収穫の楽しさ、ちば山の仲間と一緒に山行できる嬉しさを味わえる沢登りだった。

帰りに双葉 IC 近くの神の湯温泉で汗を流し、帰葉した。

清野(記)